

# 彦根市 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査（概要版）

## 1 調査の概要

### （1）調査の目的

高齢者の方々が健康で安心して暮らすことができるまちづくりの一層の推進に向け、今後の高齢者保健福祉施策を推進していくための基礎資料とすることを目的としている。

### （2）調査期間と調査方法

調査期間：令和7年12月17日から令和8年1月9日まで

調査方法：郵送による配布・回収

### （3）調査対象及び帳票の配布数と回収数

配布数	回収数	有効回答数	有効回収率
4,000 件	2,845 件 (前回：2,839 件)	2,742 件 (前回：2,792 件)	68.6% (前回：70.0%)

### （4）調査結果の表示方法

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

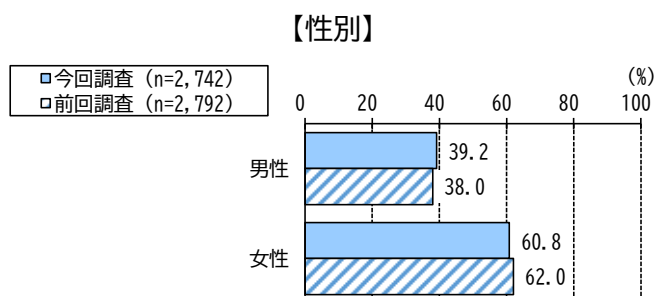
- ①「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
- ②単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
- ③複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer=いくつでも)、3LA (3 Limited Answer=3つまで)と記載している。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合がある。
- ④各種リスクの非該当には判定不能も含む。
- ⑤母数が50以下の場合、分析から除外する場合がある。
- ⑥表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10.0ポイント以上高い場合には△、10.0ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。
- ⑦図表中では、第9期彦根市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定時に行った調査を「前回調査」、本調査を「今回調査」としている。

## 2 調査の結果

### (1) 回答者の属性について

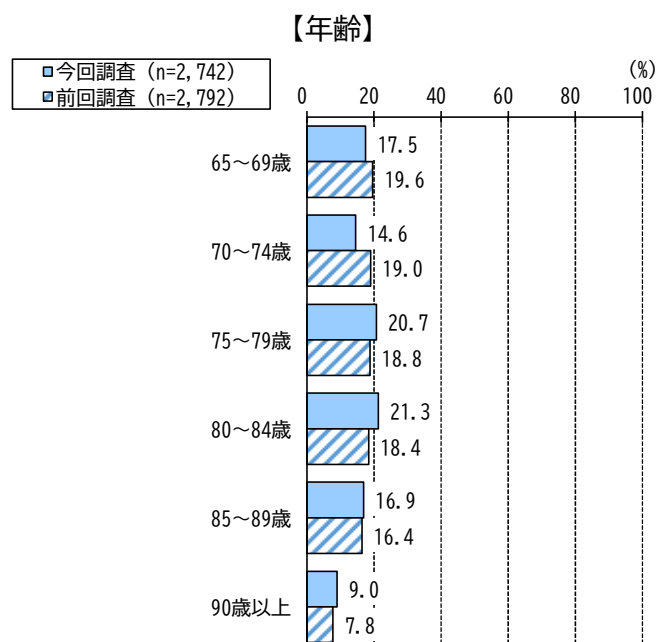
#### 性別

【全体】 「男性」が39.2%、「女性」が60.8%となっています。



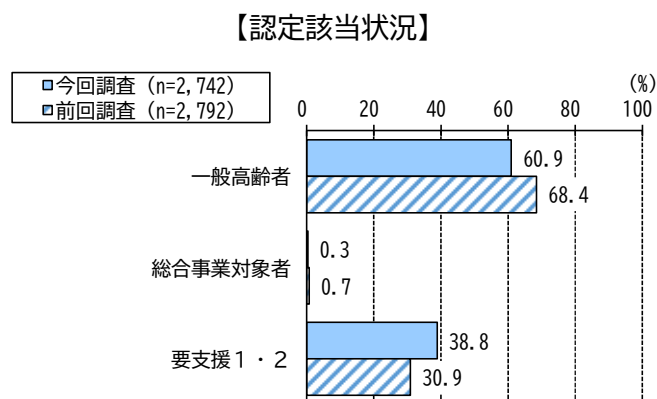
#### 年齢

【全体】 「80～84歳」が21.3%で最も多く、次いで「75～79歳」が20.7%、「65～69歳」が17.5%となっています。



#### 認定該当状況

【全体】 「一般高齢者」が60.9%で最も多く、次いで「要支援1・2」が38.8%、「事業対象者」が0.3%となっています。



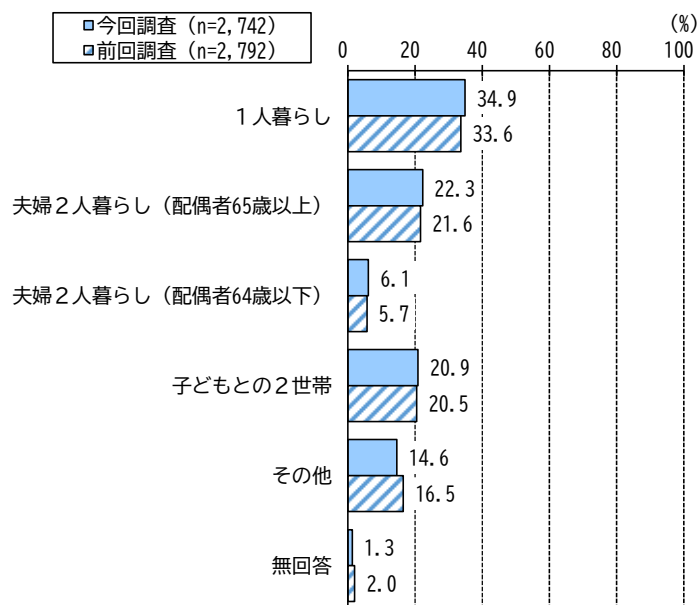
(2) あなたのご家族や生活状況について

家族構成を教えてください。(1つだけ○)

○ 「1人暮らし」「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」をあわせた“高齢者のみ世帯”は63.3%

【全体】 「1人暮らし」が34.9%で最も多く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が22.3%、「子どもとの2世帯」が20.9%となっています。

【家族構成】

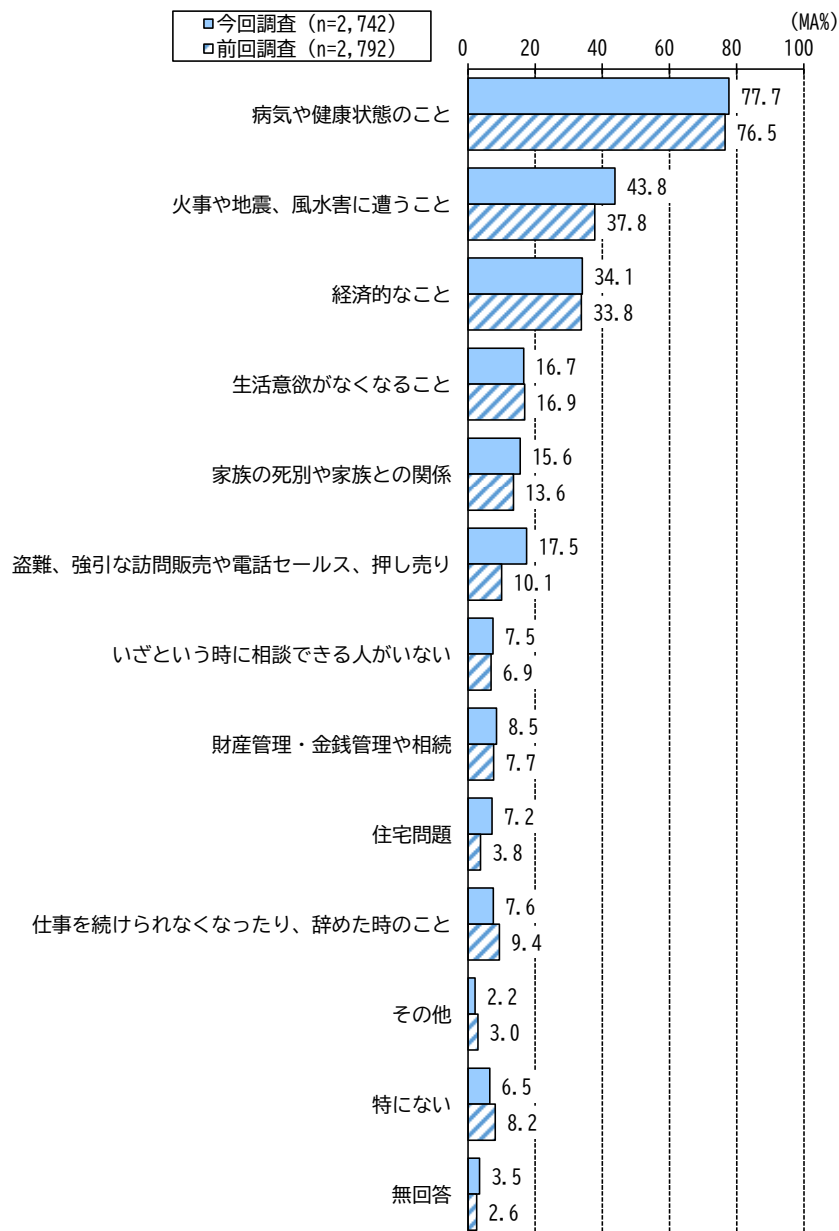


日頃生活する中で不安に思っていることは何ですか。(いくつでも○)

○ 前回調査から、「火事や地震、風水害に遭うこと」が 6.0 ポイント、「盗難、強引な訪問販売や電話セールス、押し売り」が 7.4 ポイント増加

【全体】 「病気や健康状態のこと」が 77.7%で最も多く、次いで「火事や地震、風水害に遭うこと」が 43.8%、「経済的なこと」が 34.1%となっています。

【日常生活での不安】

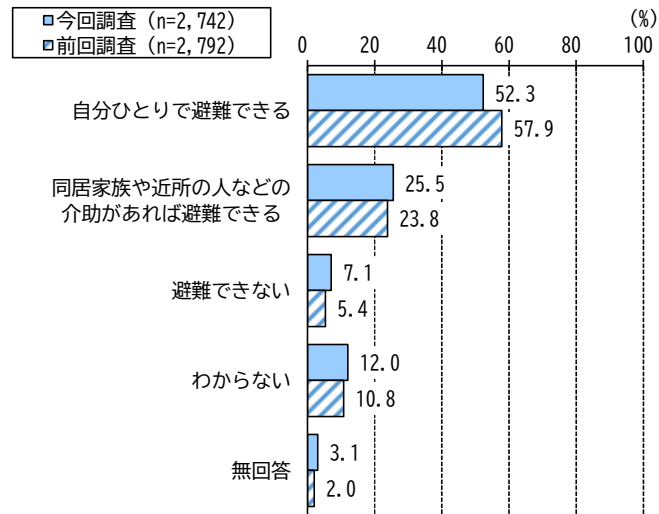


災害が発生した時、避難できますか。(1つだけ○)

○ 前回調査から、「自分ひとりで避難できる」が5.6ポイント減少

【全体】 「自分ひとりで避難できる」が52.3%で最も多く、次いで「同居家族や近所の人などの介助があれば避難できる」が25.5%、「わからない」が12.0%となっています。

【災害時の避難可否】

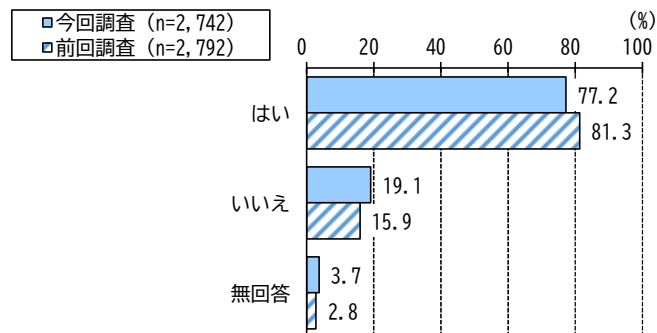


問1.7 災害が発生した時の避難場所を知っていますか。(1つだけ○)

○ 前回調査から、「はい」が4.1ポイント減少

【全体】 「はい」が77.2%、「いいえ」が19.1%となっています。

【避難場所の認知】



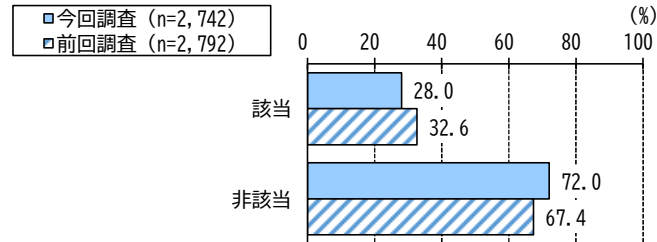
### (3) 生活機能評価

#### 運動器の機能低下リスク

【全体】 「該当」が28.0%、「非該当」が72.0%となっています。

【認定該当状況】 「該当」は要支援1・2が54.2%と多くなっています。

【運動器の機能低下リスク】



		母数	運動器の機能低下リスク	
			該当	非該当
認定該当状況	一般高齢者	1,671	▼ 11.2	▲ 88.8
	総合事業対象者	8	▲ 50.0	▼ 50.0
	要支援1・2	1,063	▲ 54.2	▼ 45.8

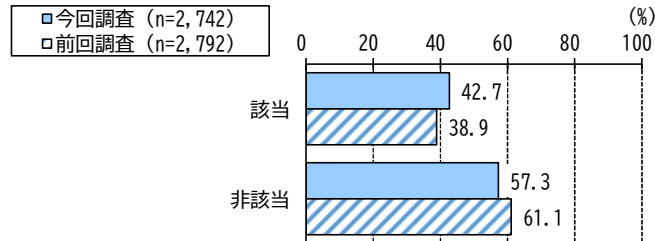
単位：%

#### 転倒リスク

【全体】 「該当」が42.7%、「非該当」が57.3%となっています。

【認定該当状況】 「該当」は要支援1・2が57.0%と多くなっています。

【転倒リスク】



		母数	転倒リスク	
			該当	非該当
認定該当状況	一般高齢者	1,671	33.6	66.4
	総合事業対象者	8	37.5	62.5
	要支援1・2	1,063	▲ 57.0	▼ 43.0

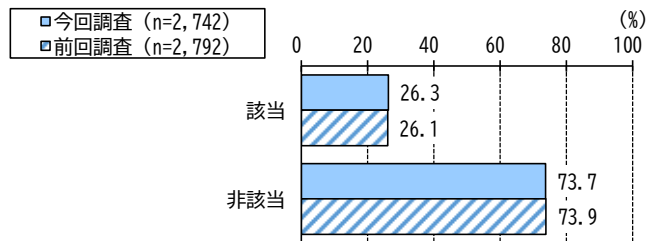
単位：%

### 閉じこもりのリスク

【全体】 「該当」が26.3%、「非該当」が73.7%となっています。

【認定該当状況】 「該当」は要支援1・2が41.5%と多くなっています。

【閉じこもりのリスク】



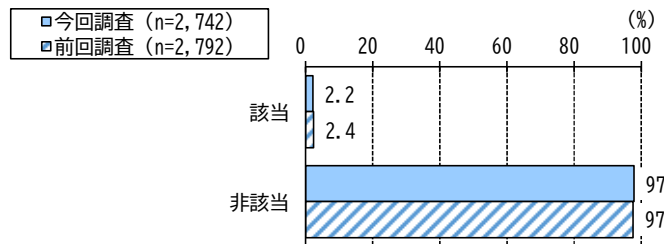
		母数	閉じこもりのリスク	
			該当	非該当
認定該当状況	一般高齢者	1,671	16.6	83.4
	総合事業対象者	8	25.0	75.0
	要支援1・2	1,063	△ 41.5	▼ 58.5

### 低栄養リスク

【全体】 「該当」が2.2%、「非該当」が97.8%となっています。

【認定該当状況】 すべての区分で「該当」は5.0%以下となっています。

【低栄養リスク】



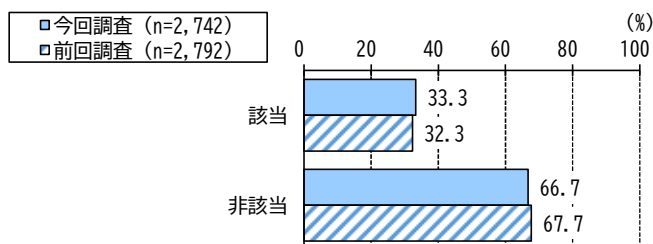
		母数	低栄養リスク	
			該当	非該当
認定該当状況	一般高齢者	1,671	1.7	98.3
	総合事業対象者	8	-	100.0
	要支援1・2	1,063	3.0	97.0

### 口腔機能の低下リスク

【全体】 「該当」が33.3%、「非該当」が66.7%となっています。

【認定該当状況】 「該当」は要支援1・2が43.7%と多くなっています。

【口腔機能の低下リスク】



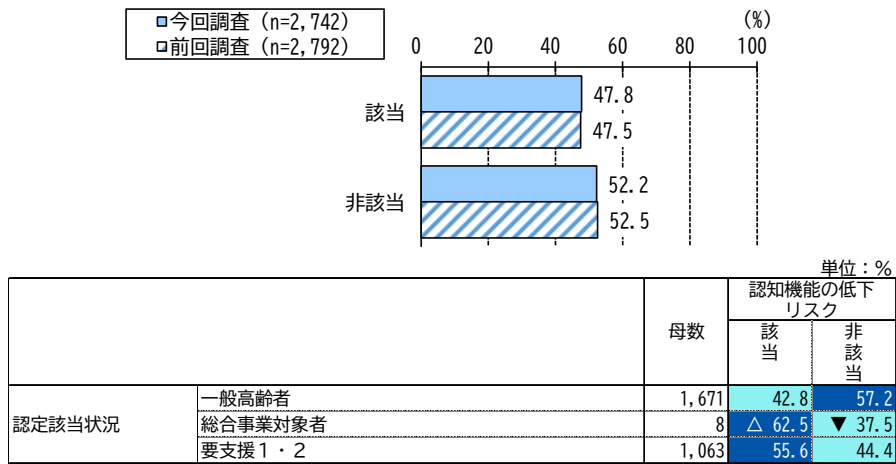
		母数	口腔機能の低下リスク	
			該当	非該当
認定該当状況	一般高齢者	1,671	26.6	73.4
	総合事業対象者	8	37.5	62.5
	要支援1・2	1,063	△ 43.7	▼ 56.3

## 認知機能の低下リスク

【全体】 「該当」が47.8%、「非該当」が52.2%となっています。

【認定該当状況】 「非該当」は一般高齢者が57.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【認知機能の低下リスク】

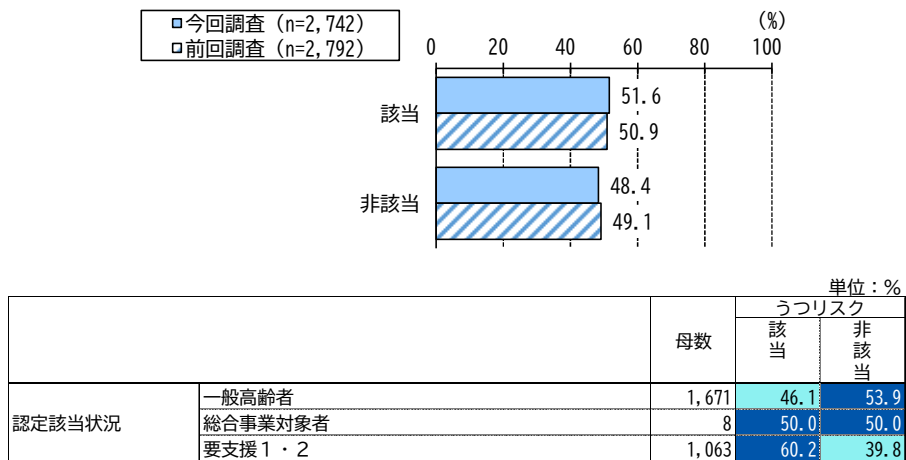


## うつのリスク

【全体】 「該当」が51.6%、「非該当」が48.4%となっています。

【認定該当状況】 「該当」は要支援1・2が60.2%と多くなっています。

【うつリスク】

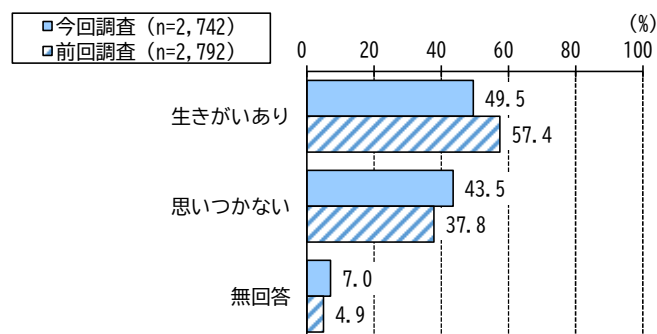


## 生きがいはありますか。(1つだけ○)

○ 前回調査から、「生きがいあり」は7.9ポイント減少

【全体】 「生きがいあり」が49.5%、「思いつかない」が43.5%となっています。

【生きがいの有無】



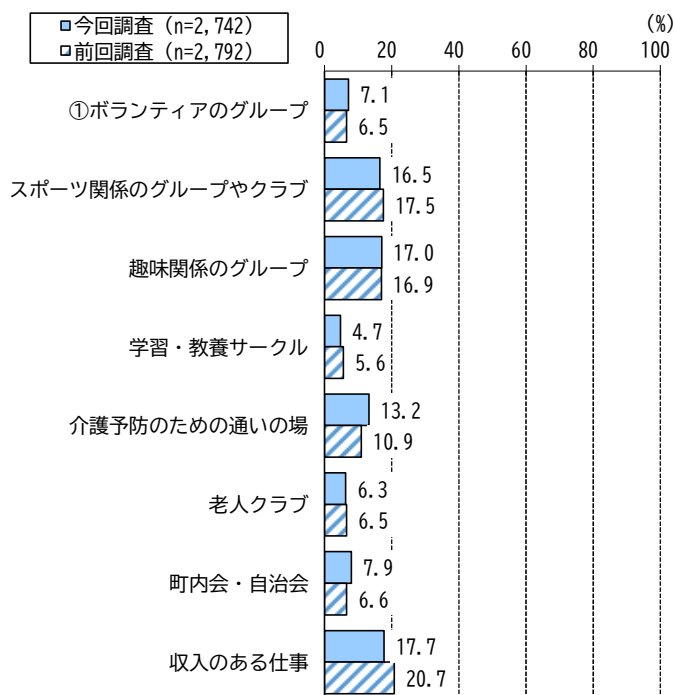
#### (4) 地域の会・グループへの参加状況

以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか。(それぞれ1つだけ○)

【全体】  
○ 月に1回以上「収入のある仕事」をしている人が17.7%

【全体】 「収入のある仕事」が17.7%で最も多く、次いで「趣味関係のグループ」が17.0%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が16.5%となっています。

【会・グループへの参加（全体）】※月に1回以上参加している割合

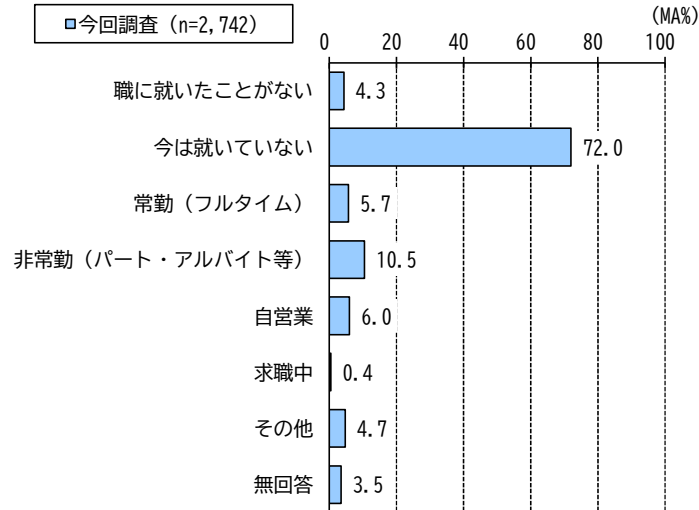


## (5) 就労について

現在のあなたの就労状態はどれですか。(いくつでも○)

【全体】 「今は就いていない」が72.0%で最も多く、次いで「非常勤(パート・アルバイト等)」が10.5%、「自営業」が6.0%となっています。

【現在の就労状況】

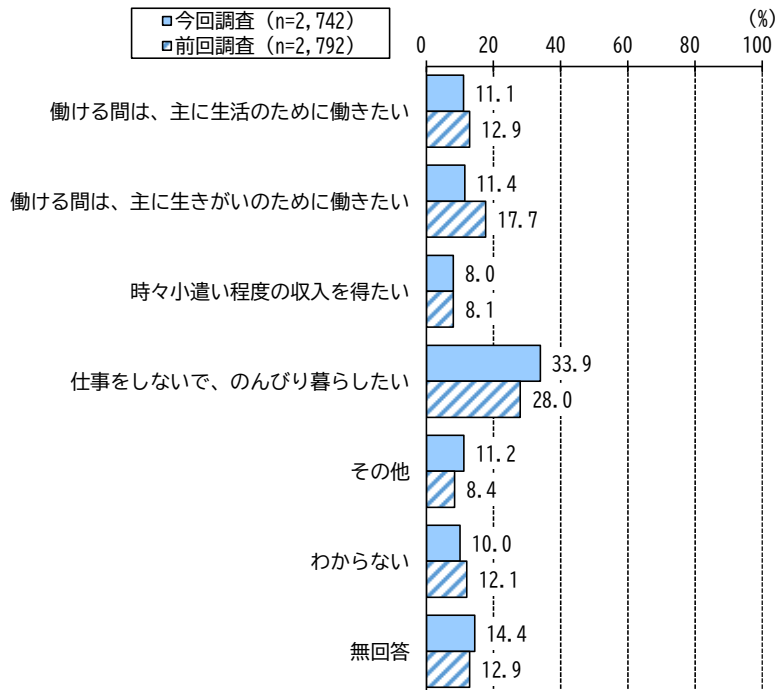


問6.2 今後の仕事について、お考えに近いものはどれですか。(1つだけ○)

○ 前回調査から、「働ける間は、主に生きがいのために働きたい」が6.3ポイント減少し、「仕事をしないで、のんびり暮らしたい」が5.9ポイント増加

【全体】 「仕事をしないで、のんびり暮らしたい」が33.9%で最も多く、次いで「働ける間は、主に生きがいのために働きたい」が11.4%、「その他」が11.2%となっています。

【今後の就労意向】



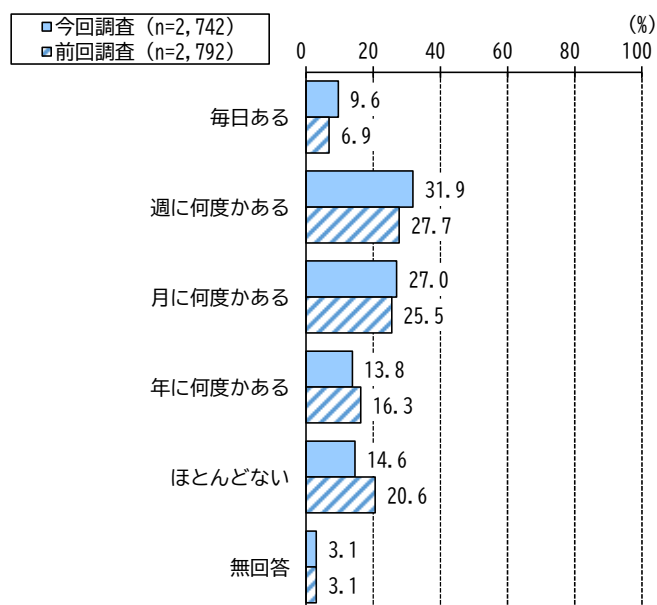
## (6) 支え合いについて

友人・知人・地域の人と会う頻度はどれくらいですか。(1つだけ○)

- 前回調査から、「ほとんどない」が6.0ポイント減少
- 「ほとんどない」は前期・後期高齢者ともに男性が多い

【全体】 「週に何度かある」が31.9%で最も多く、次いで「月に何度かある」が27.0%、「ほとんどない」が14.6%となっています。

【友人・知人・地域の人との交流頻度】



単位：%

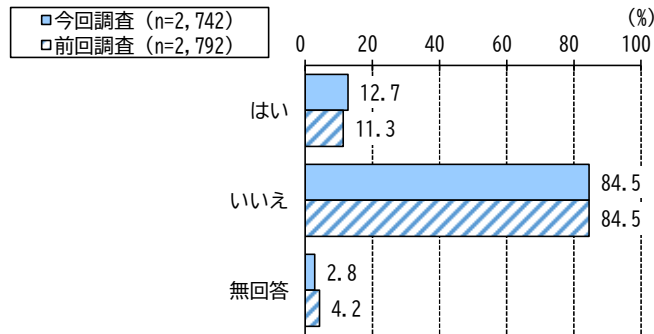
	母数	友人・知人・地域の人との交流頻度						
		毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答	
性・年齢	男性 前期高齢者	504	10.3	27.4	24.8	19.6	16.7	1.2
	後期高齢者	572	8.7	26.2	24.5	15.9	22.2	2.4
	女性 前期高齢者	378	13.2	32.5	27.8	13.2	11.4	1.9
	後期高齢者	1,288	8.7	35.9	28.6	10.8	11.3	4.6

(7) 認知症について

認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ○)

【全体】 「はい」が12.7%、「いいえ」が84.5%となっています。

【認知症症状のある人の有無】



単位：%

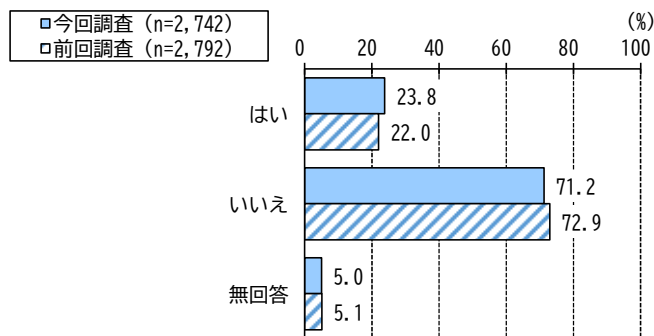
		母数	認知症症状のある人の有無		
			はい	いいえ	無回答
性・年齢	男性 前期高齢者	504	9.9	89.1	1.0
	後期高齢者	572	16.1	81.5	2.4
	女性 前期高齢者	378	14.6	84.7	0.8
	後期高齢者	1,288	11.7	84.0	4.3

認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ○)

○ 本人や家族に症状がある人のうち、認知症に関する相談窓口を知っている人は48.6%

【全体】 「はい」が23.8%、「いいえ」が71.2%となっています。

【認知症相談窓口の認知】



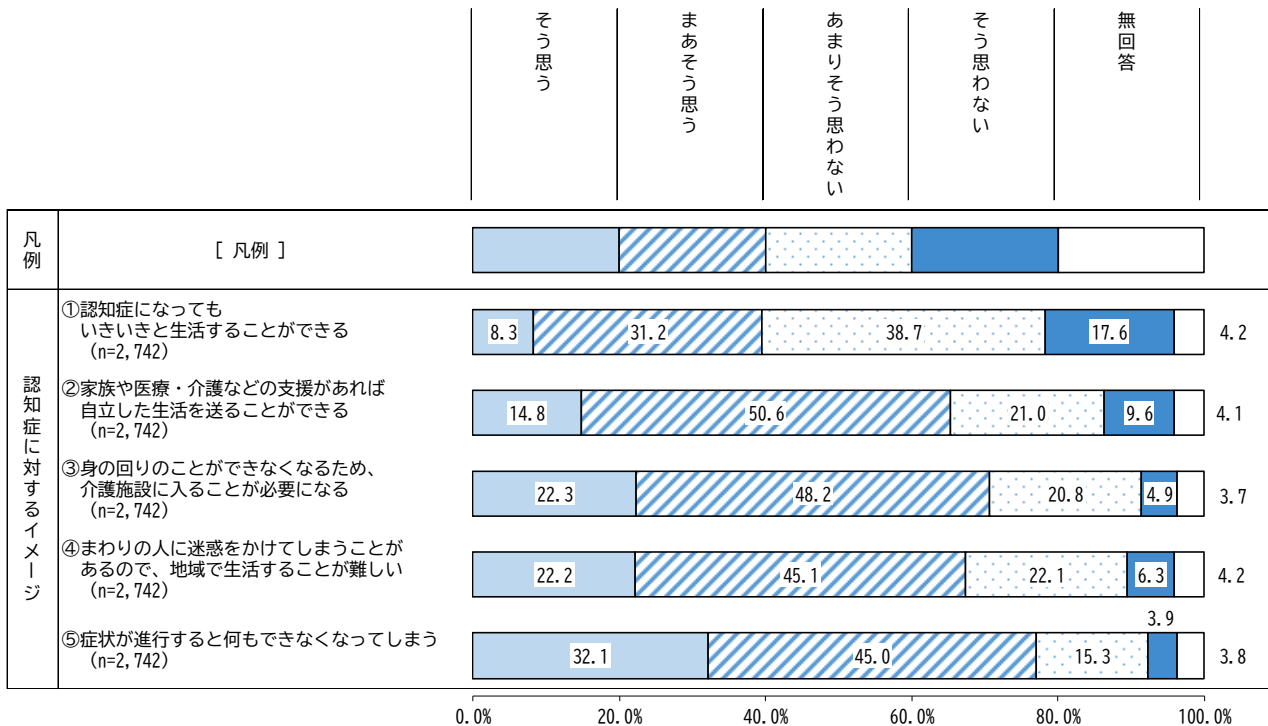
単位：%

		母数 (n)	認知症相談窓口の認知		
			はい	いいえ	無回答
認知症症状のある人の有無	はい	348	△ 48.6	▼ 46.6	4.9
	いいえ	2,317	20.6	76.1	3.3

あなたの認知症に対するイメージは、次のうちどれですか。「自分や家族が認知症になったら」と仮定してお答えください。現在、ご自身や家族が認知症である場合は、現在の心境に近いと思われる項目を選択してください。(それぞれ1つだけ○)

○ 「そう思う」「まあそう思う」をあわせた“そう思う人”が最も多いものは「⑤症状が進行すると何もできなくなってしまう」で 77.1%、最も少ないものは「①認知症になってもいきいきと生活することができる」で 39.5%と、その差は 37.6 ポイント

【認知症相談窓口の認知】

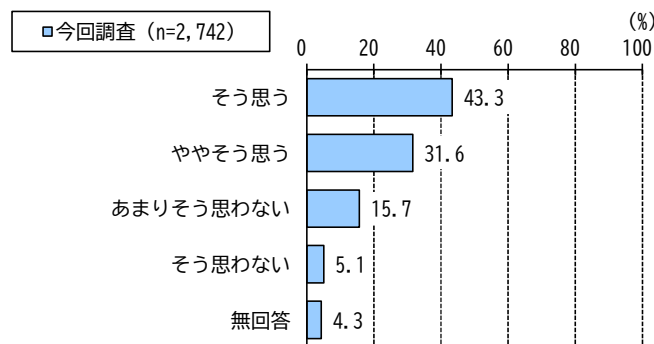


あなたや家族、身近な人が認知症になった場合、そのことを周囲に伝えてもよいと思いますか。(1つだけ○)

○ 「そう思う」「まあそう思う」をあわせた“そう思う人”は 74.9%  
 ○ 「あまりそう思わない」「そう思わない」をあわせた“そう思わない人”は 20.8%

【全体】 「そう思う」が 43.3%で最も多く、次いで「ややそう思う」が 31.6%、「あまりそう思わない」が 15.7%となっています。

【認知症に関する情報共有意向】



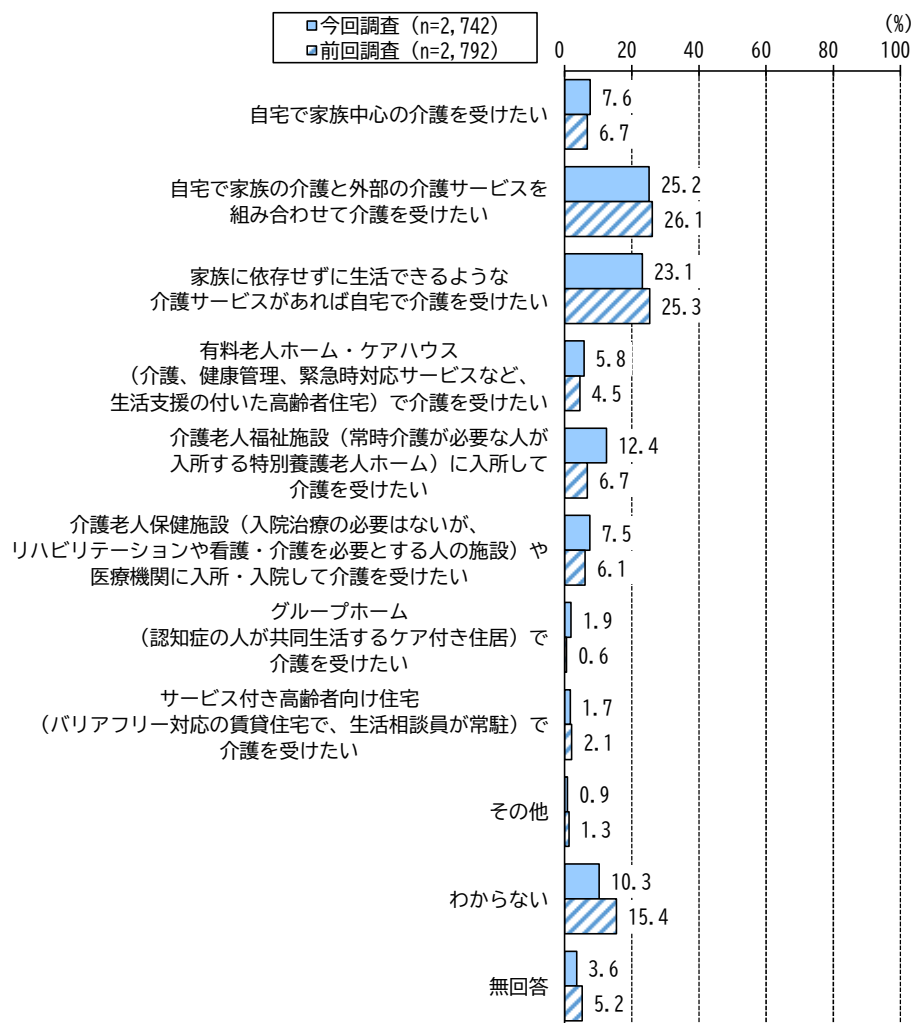
(8) これからの生き方や市の取組への希望について

もしあなた自身の介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。(1つだけ○)

○ 前回調査から、「介護老人福祉施設（常時介護が必要な人が入所する特別養護老人ホーム）に入所して介護を受けたい」が5.7ポイント増加

【全体】 「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」が25.2%で最も多く、次いで「家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい」が23.1%、「介護老人福祉施設（常時介護が必要な人が入所する特別養護老人ホーム）に入所して介護を受けたい」が12.4%となっています。

【将来の介護意向】

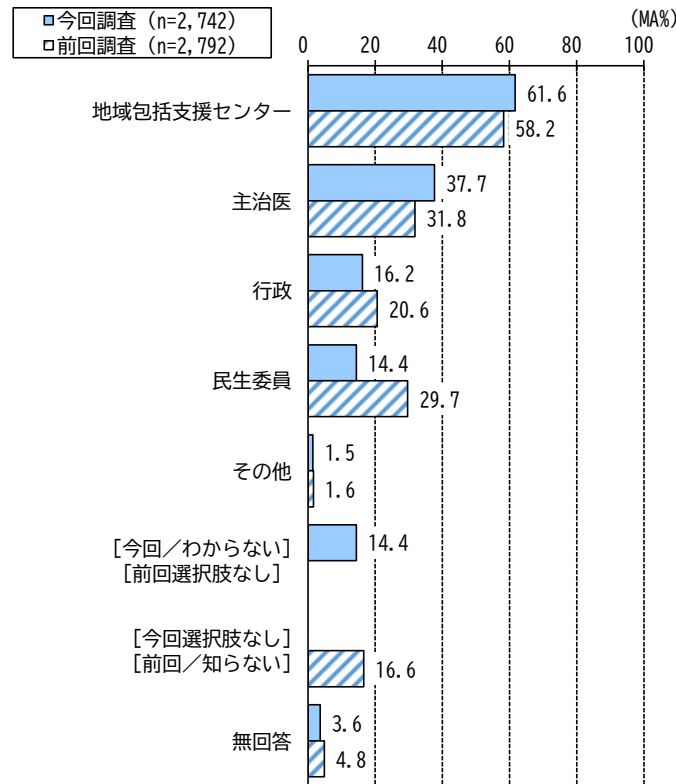


あなたやあなたの家族などに介護が必要となった時の相談窓口はどこですか。(いくつでも○)

○ 前回調査から、「主治医」が5.9ポイント増加、「民生委員」が15.3ポイント減少

【全体】 「地域包括支援センター」が61.6%で最も多く、次いで「主治医」が37.7%、「行政」が16.2%となっています。

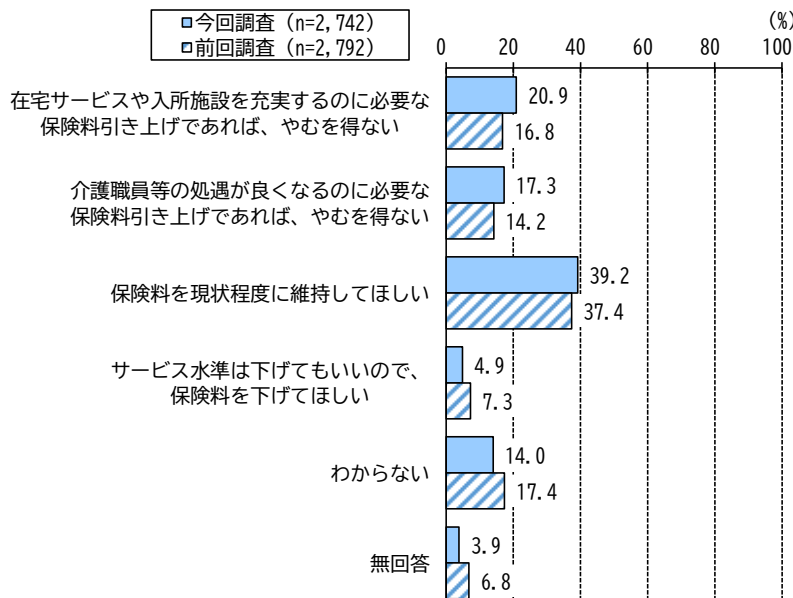
【介護に関する相談先】



今後の介護保険料について、お考えに近いものはどれですか。(1つだけ○)

【全体】 「保険料を現状程度に維持してほしい」が39.2%で最も多く、次いで「在宅サービスや入所施設を充実するのに必要な保険料引き上げであれば、やむを得ない」が20.9%、「介護職員等の処遇が良くなるのに必要な保険料引き上げであれば、やむを得ない」が17.3%となっています。

【介護保険料に対する考え】

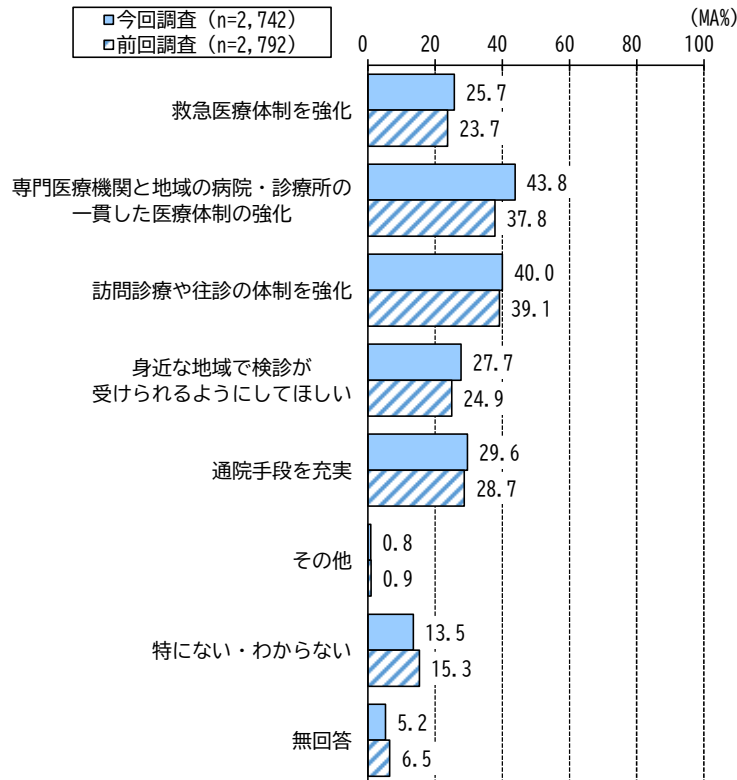


保健医療に関して、行政に力を入れてほしいことは何ですか。(いくつでも○)

○ 前回調査から、「専門医療機関と地域の病院・診療所の一貫した医療体制の強化」6.0ポイント増加

【全体】 「専門医療機関と地域の病院・診療所の一貫した医療体制の強化」が43.8%で最も多く、次いで「訪問診療や往診の体制を強化」が40.0%、「通院手段を充実」が29.6%となっています。

【保健医療で力を入れてほしいこと】

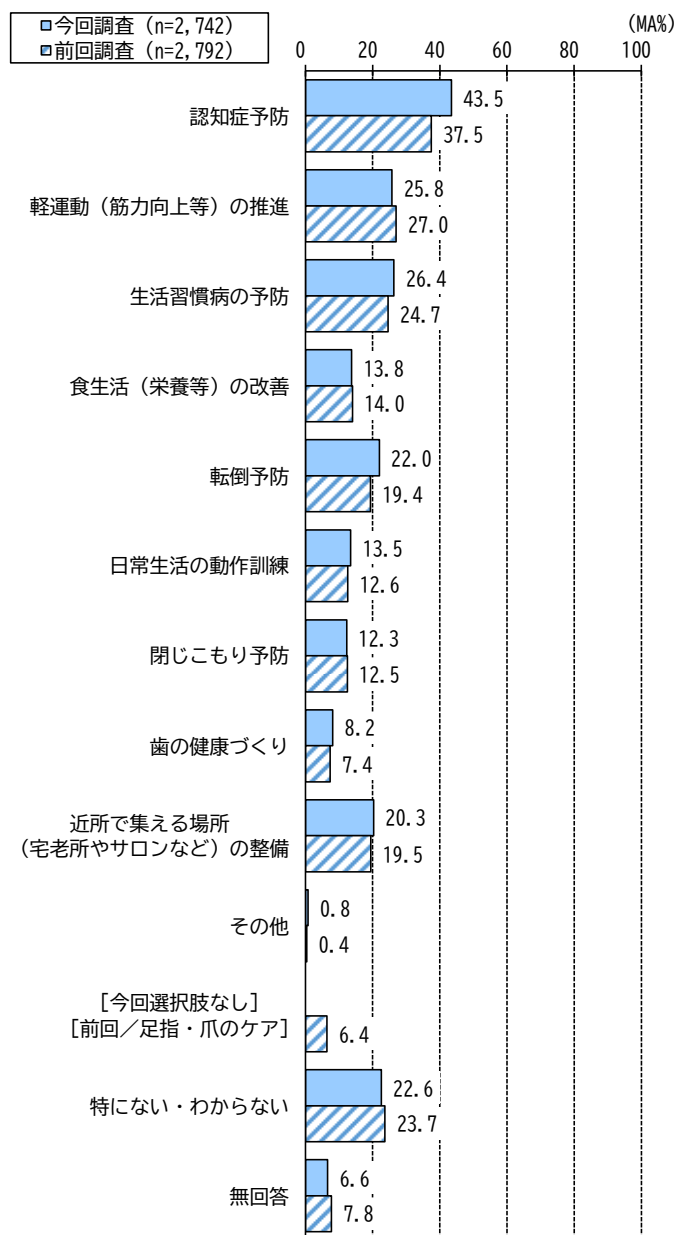


介護予防に関して、行政に力を入れてほしいことは何ですか。(いくつでも○)

○ 前回調査から、「認知症予防」が6.0ポイント増加

【全体】 「認知症予防」が43.5%で最も多く、次いで「生活習慣病の予防」が26.4%、「軽運動（筋力向上等）の推進」が25.8%となっています。

【介護予防で力を入れてほしいこと】

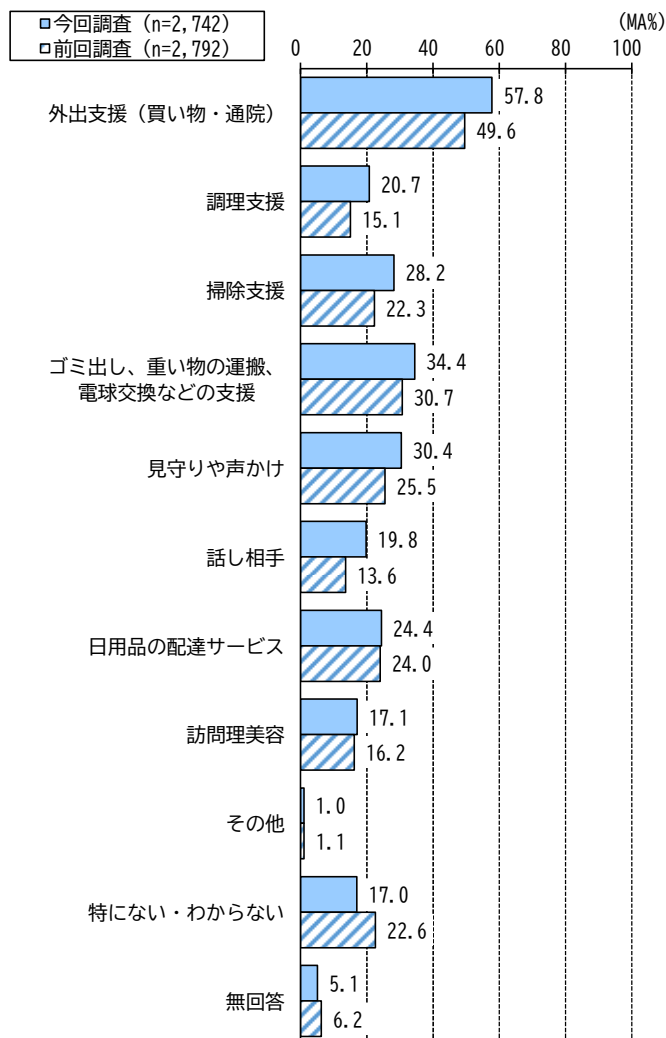


在宅生活を続ける上で、現在または今後必要だと思うサービスは何ですか。(いくつでも○)

○ 前回調査から、「外出支援（買い物・通院）」が 8.2 ポイント、「調理支援」が 5.6 ポイント、「掃除支援」が 5.9 ポイント、「話し相手」が 6.2 ポイント増加

【全体】 「外出支援（買い物・通院）」が 57.8%で最も多く、次いで「ゴミ出し、重い物の運搬、電球交換などの支援」が 34.4%、「見守りや声かけ」が 30.4%となっています。

【在宅生活継続に必要なサービス】

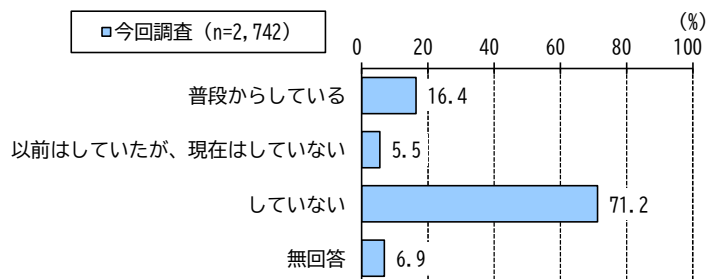


あなたは、人生会議や人生の最期（看取り）について話をしていますか。（1つだけ○）

【全体】 「していない」が71.2%で最も多く、次いで「普段からしている」が16.4%、「以前はしていたが、現在はしていない」が5.5%となっています。

【性・年齢】 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「していない」が多く、特に前期高齢者は87.3%となっています。

【人生会議や看取りの話し合い】



単位：%

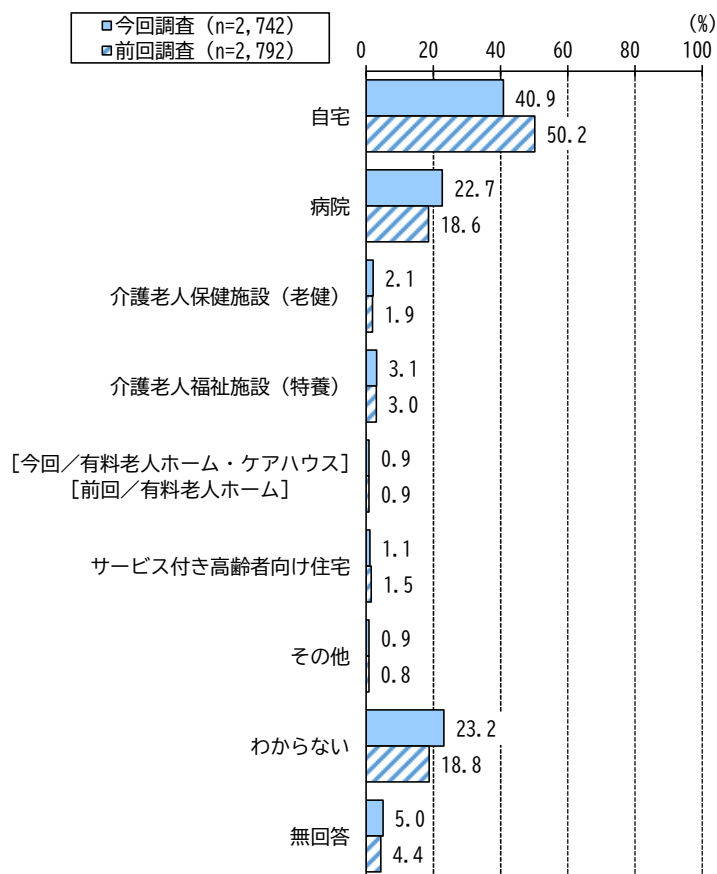
性・年齢	母数	人生会議や看取りの話し合い			
		普段からしている	以前はしていたが、現在はしていない	していない	無回答
男性 前期高齢者	504	9.1	1.6	△ 87.3	2.0
	572	14.3	3.8	75.3	6.5
女性 前期高齢者	378	16.1	6.6	73.8	3.4
	1,288	20.3	7.4	62.3	10.1

あなたは、人生の最期（看取り）をどこで迎えたいですか。（1つだけ○）

○ 前回調査から、「自宅」が9.3ポイント減少

【全体】 「自宅」が40.9%で最も多く、次いで「わからない」が23.2%、「病院」が22.7%となっています。

【看取りの希望場所】

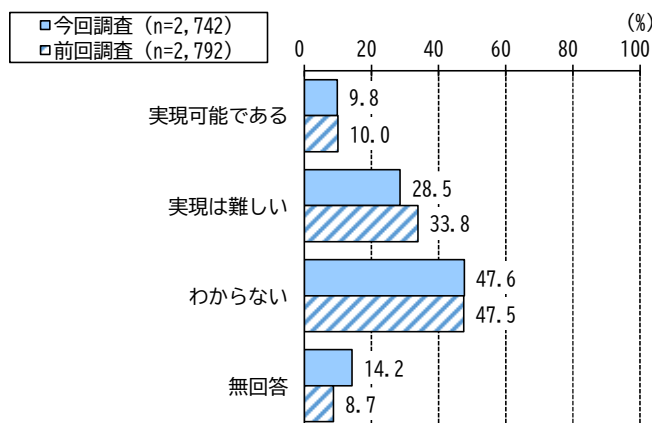


あなたは「あなたは、人生の最期（看取り）をどこで迎えたいですか。」でお答えになった場所で、最期まで療養できると思いますか。（1つだけ○）

- 前回調査から、「実現は難しい」が5.3ポイント増加
- 看取りの希望場所で最も多かった自宅は「実現可能である」が10.5%、「実現が難しい」が44.3%となっている

【全体】 看取り場所の実現可能性について、「わからない」が47.6%で最も多く、次いで「実現は難しい」が28.5%、「実現可能である」が9.8%となっています。

【看取り場所の実現可能性】



単位：%

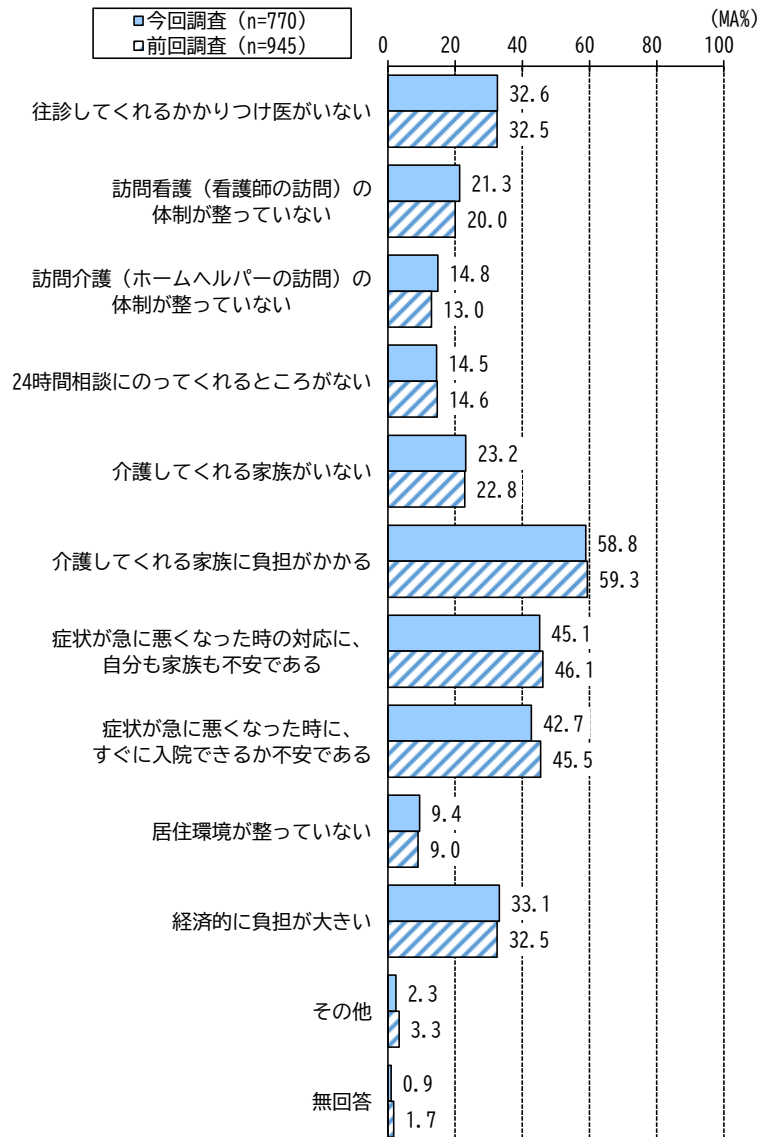
	母数 (n)	看取り場所の実現可能性			
		実現可能である	実現は難しい	わからない	無回答
看取りの希望場所					
自宅	1,122	10.5	△ 44.3	41.1	4.1
病院	623	16.1	28.1	51.5	4.3
介護老人保健施設（老健）	58	10.3	22.4	△ 60.3	6.9
介護老人福祉施設（特養）	85	△ 27.1	24.7	42.4	5.9
有料老人ホーム・ケアハウス	25	△ 36.0	▼ 12.0	52.0	-
サービス付き高齢者向け住宅	31	19.4	△ 51.6	▼ 25.8	3.2
その他	26	11.5	△ 42.3	42.3	3.8
わからない	636	0.5	▼ 5.3	△ 64.6	29.6

実現は難しいとお考えになる具体的な理由は何ですか。(いくつでも○)

- 「介護してくれる家族に負担がかかる」と回答した人が6割程度
- 看取りの希望場所で最も多かった自宅は「介護してくれる家族に負担がかかる」が64.5%、「症状が急に悪くなった時の対応に、自分も家族も不安である」が49.1%となっている

【全体】「介護してくれる家族に負担がかかる」が58.8%で最も多く、次いで「症状が急に悪くなった時の対応に、自分も家族も不安である」が45.1%、「症状が急に悪くなった時に、すぐに入院できるか不安である」が42.7%となっています。

【実現困難な理由】



単位：%

看取りの希望場所	母数 (n)	看取り場所の実現可能性												
		往診してくれるかかりつけ医がない	訪問看護(看護師の訪問)の体制が整っていない	訪問介護(ホームヘルパーの訪問)の体制が整っていない	24時間相談にのってくれるところがない	介護してくれる家族がない	介護してくれる家族に負担がかかる	症状が急に悪くなった時の対応に、自分も家族も不安である	症状が急に悪くなった時に、すぐに入院できるか不安である	居住環境が整っていない	経済的に負担が大きい	その他	無回答	
全体	781	32.4	21.1	14.7	14.5	23.3	58.5	45.2	42.8	9.3	33.2	2.4	0.9	
自宅	497	36.6	23.7	17.3	13.7	21.5	64.4	49.1	40.0	9.3	27.4	1.6	0.6	
病院	175	25.7	14.9	8.6	14.3	20.0	52.0	37.1	49.1	7.4	△ 43.4	4.0	1.1	
介護老人保健施設(老健)	13	▼ 15.4	15.4	7.7	15.4	△ 38.5	61.5	▼ 30.8	▼ 30.8	7.7	38.5	7.7	-	
介護老人福祉施設(特養)	21	▼ 19.0	28.6	23.8	23.8	23.8	▼ 42.9	52.4	△ 71.4	19.0	△ 57.1	4.8	-	
有料老人ホーム・ケアハウス	3	-	-	-	△ 33.3	-	▼ 33.3	△ 66.7	33.3	-	△ 66.7	-	-	
サービス付き高齢者向け住宅	16	△ 37.5	△ 31.3	18.8	18.8	△ 37.5	▼ 37.5	▼ 25.0	▼ 31.3	-	△ 43.8	-	6.3	
その他	11	△ 45.5	27.3	9.1	18.2	△ 63.6	▼ 27.3	▼ 27.3	45.5	△ 54.5	△ 54.5	9.1	-	
わからない	34	▼ 20.6	11.8	8.8	17.6	△ 41.2	▼ 44.1	41.2	41.2	5.9	32.4	-	2.9	

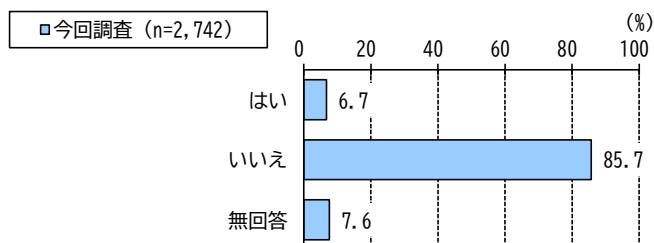
(9) ご自身のことについて

あなたは「身寄りのない人」にあたりますか。(1つだけ○)

【全体】 「はい」が6.7%、「いいえ」が85.7%となっています。

【性・年齢】 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「はい」が多くなっています。

【身寄りない人の該当】



		母数	身寄りない人の該当		
			はい	いいえ	無回答
性・年齢	男性 前期高齢者	504	8.1	88.3	3.6
	後期高齢者	572	10.0	83.2	6.8
	女性 前期高齢者	378	3.7	93.4	2.9
	後期高齢者	1,288	5.7	83.5	10.9

身寄りのない場合の、現在の生活で困りごとや不安に感じることに、お答えください。(いくつでも○)

【全体】 「病气やけがをした時の対応」が69.7%で最も多く、次いで「入院や介護施設への入所手続き」が50.3%、「死後の事務(葬儀・遺品整理など)」が38.4%となっています。

【身寄りがない場合の不安】

